

平成30年度「里山応援隊活動」実施報告（その5）

1 概要

人口の減少や高齢化により、里山林の適切な管理を地域住民のみで実施することが困難な地域が増えつつあります。

このため、地域住民と森づくりサポーター（※1）が協働で里山林整備を実施する里山応援隊活動を、氷見市指崎地区で実施しました。

今年度最終の「里山応援隊活動」の見込みです。

※1 とやまの森づくりサポートセンターに登録されている森林ボランティアのうち、一定の技量・技術を有している会員が登録。

2 日時・場所

（1）日時 平成30年10月21日（日）10:00～14:00

（2）場所 氷見市指崎地内

3 参加者数 4名 （地域住民2名、森づくりサポーター2名）

4 実施内容と活動状況

活動前ミーティング



地域住民と森づくりサポーターが活動上の注意点などを確認

協働作業 刈払い



協働で林内の刈払を実施

協働作業 伐採木玉切



森づくりサポーターがチェーンソーを使用し、伐倒木の玉切処理を実施。

協働作業 玉切り



森づくりサポーターが玉切した丸太を地域住民が集積。林内の整理が出来たことで、地域では次年度以降桜などを植栽したい意向です。